

風をあつめて



第35号(校長室だより)
平成24年10月31日
貝塚市立東山小学校

11月を迎え、秋の深まりが感じられる季節となりました。学校では、この2学期に、スポーツ・勉学・芸術を通じて、最後までやりとげでうれしかったという経験を、子どもたちにはたくさん積ませたいと考えています。11月4日は日曜参観日です。1時間目に人権学習、10時から校内音楽会を行いますので、どうぞご参観を、よろしくお願ひいたします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○豊かな心を育みます ○教職員の資質向上

親切でほかほか 2年道徳研究授業 10/16

くまさんが、穴におちたねずみの子を助けるために、せっかく集めた「宝物」を捨て、からになったかばんにねずみの子を入れてツルをよじのぼるお話を通して、児童は「親切」について考えました。事後討議で、講師の畿央大学の島 恒生教授から、道徳の授業づくりについてご指導いただきました。



島先生のお話

人を氷山で例えると、海面上で見えている部分が「行いや行動」で、海面下で見えない部分が「心の中」である。道徳の時間で「心の中」に焦点を当て、道徳的価値の自覚を深めるために、「子どもの発言の中に眠っているダイヤモンドの原石を見つけ、立ち止まること」が重要である。また、「親切・おもしろい」を扱うとき、児童の発達段階に応じて、求めるものが異なることにも配慮しなくてはならない。

○豊かな心を育みます

6年 ヒロシマでの平和学習 10/14・15

6年生は、修学旅行に行くまでに、総合的な学習の時間で平和学習をしてきました。また、全校児童に、スライドを使って「さだ子と千羽鶴」の読み聞かせをしました。修学旅行では、1～6年生が折った千羽鶴をもって、ヒロシマへ向かいました。



○千羽鶴をささげたり、碑めぐりをしたりして思ったことは、とにかく戦争はいけないと思う文化を保ち続けること、伝えていくことが大切だと分かりました。ぼくは、まだ伝えていくことは難しいので、自分の中で保ち続けたいと思います。

○坪井直さんは、坪井さんがお母さんの叫び声で助かったことや、原爆の恐ろしさ、戦争と原爆でたくさんの大事な存在を失うことを話してくれました。友だちとけんかをしてはいけないこと、戦争をしてはいけないことをしっかり学びました。

○確かな学力の向上に努めます

おいもまつりにだんじり登場 10/30

1・2年生が生活科で植えたサツマイモを収穫しました。生活科でおいもまつりを計画し、お店を出したり、手作りのだんじりをひきました。



○確かな学力の向上に努めます ○教職員の資質向上 10/4

育ちゆく体とわたし 4年研究授業

4年生が保健の研究授業を行い、事後討議会で木島小学校の藤本ミエ子先生に、系統立てた性教育についてお聞きしました。



○男の人の体の中も、女の人の体の中も、みんな大切だということをいっぱい知れた。赤ちゃんを育てる部屋も自分の命もとっても大切なんだね。私のお母さんは、自分の命より生まれてくる赤ちゃんの方が大切だといっていた。

○たった3年間でこんなに身長が伸びているとはびっくりした。男女では、男性ホルモンと女性ホルモンで育ち方がちがうことが分かった。心も成長することを知った。

大阪教志セミナー受講生の実習

大阪府主催の「大阪教志セミナー」から、教職を目指している大学生の湯倉真由さんが、本校で実地実習をしました。

みんなの顔を見ると、自然に笑顔になるくらいの力を、私にくれました。今まで以上に小学校の先生になりたいという気持ちが大きくなりました。みんなに出会えてよかったです。ありがとうございました。



○はじめてやるときは、できるかふあんでした。でも、どんどんなれてきて、できていきました。どんどんすすんでいきました。ぼくはポテトをつくりました。

○確かな学力の向上に努めます

大阪府学力・学習状況調査について

6年生を対象に大阪府学力・学習状況調査が6月に実施されました。その結果が、8月末に大阪府より学校に送られ、6年生には、9月中旬に個人情報としてお渡ししました。今回は、本校の傾向や今後の取組についてお知らせします。

○国語

・漢字やローマ字の読み書きなどの主として「知識」に関する問題はできるが、「3つのコンクールの中から応募条件にあったものを選び、理由を書く」問題で、選択は正しいが理由が十分書けていないなど、主として「活用」に関する問題に課題がある。

○算数

・計算や数量・図形の性質などの主として「知識」に関する問題はできるが、「条件からあてはまる答えを選び、理由を説明する」問題で、選択は正しいが理由を十分説明できないなど、主に「活用」に関する問題に課題がある。

○学習状況調査(児童アンケート)

・学習に関しては、「先生や友達の話をよく聞いている」「授業では、みんなで話し合う活動や自分の考えをノートなどにまとめる活動をよくしている」「公式やきまりのわけを理解するようにしている」「学校の授業の予習・復習をしている」などの項目に肯定的な回答が多い(9割～10割)。
・自分に関しては、「人の気持ちが分かる人間になりたい」「将来の夢や目標を持っている」「物事を最後までやりとげでうれしかったことがある」などの項目に肯定的な回答が多い(9割～10割)。反面、「自分の性格でいやだと思ふことが多い」児童が約7割、「欲しいものがあれば、がまんできない」児童が約5割いる。

○今後の取組

学校全体で、授業規律・学力保障・「教えて考えさせる授業」などに取り組んできた成果が現れていると感じます。これらの取組を継続させながら、今後、活用する力の強化や自尊感情の育成に力を入れていきたいと考えています。
①学び合い活動で自分の考えを自分の言葉で発表したり、ノートに考えをまとめたりする活動を充実させます。
②学校教育活動全体を通して、人間関係づくりや自尊感情を高める取組を、引き続き推進します。

少年の主張大会

「コスモスアター」(中ホール)

十二月一日(土)午後一時三十分

市内十一校の小学生が自分たちの考えや思いを発表します。東山小学校は、6年生の桶 彩愛さんが、「はじめをなくす三つのこと」を発表しますので、応援してください。